

「主こそ我が神」

列王記第1 18章21節

「あなたがたは、いつまでどっちつかずによるめいているのか。
もし、主が神であれば、それに従い、もし、バアルが神であれば、それに従え。」

はじめに：今回のメッセージに関する神の導きについての証

・エリヤの挑戦状 21～25節

※この節のように「主」の文字が、新改訳聖書において太字になっている場合
それは、イスラエルの神の「名前」を表しており、「ヤハウエ」と発音されます。

・抵抗と敗北 26～29節

・祭壇の再建 30～35節

・エリヤの祈り 36～37節

ヨハネの福音書17章1～3節

・神の答え 38節

・完全な降伏 40節

ヨハネの福音書3章16節、ローマ人への手紙5章8節

・干ばつの終わり（真の目的） 41～46節、1節

そして、日本の時

ダニエル書9章2節、エレミヤ書25章11～12節、29章10節

分かち合いのための質問：

1. 中途半端などっちつかずは、なぜ問題なのでしょう。
2. 完全に主に明け渡すことを、妨げるのはどんな思いや考えでしょうか。
3. あなたの中で、完全に手放せずに残っているとすればそれはなんのでしょうか。

今こそ、主の前に、心から悔い改め、へりくだり、完全に主に委ね
「主こそ我が神です！」と宣言し、日本のリバイバルを求める時です。